

くすのき



～ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果分析と改善の取組について ～

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証して改善を図るため、令和7年4月17日、6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。実施日時が4月であるため、5年生までの学習状況の調査となります。本校の調査結果の分析と教育活動の改善を下記にまとめておりますのでご覧ください。なお、全国の調査結果概要は、国立教育政策研究所ホームページに掲載しております。

□結果分析

1 教科（国語科・算数科・理科）に関する調査

【国語科】 ○…優れている項目 △…課題となる項目

- | | |
|---------------------|-------------|
| ○目的や意図に応じて伝え合う内容の検討 | ○情報と情報の関連付け |
| ○自分の考えをまとめる | ○文章の構成を考える |
| △文章全体の構成を捉えて要旨を把握する | △資料を活用する |

【算数科】

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ○二次元の表から条件に合った項目を選ぶ | ○平行四辺形の作図 |
| ○異分母の分数の加法の計算をする | |
| △角の大きさについての理解 | △小数の加法で共通する単位をそろえる |
| △分数の加法で単位分数について記述で説明する | △もともになる量の何倍になっているかを表す |

【理科】

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ○実験結果を基に結論を導いた理由を表現する | ○へちまの花のつくりや受粉についての知識 |
| ○植物が発芽するために必要な条件を表現する | ○水の蒸発についての概念的な理解 |
| ○水の蒸発についての概念的な理解 | |
| △結露についての概念的な理解 | △電流がつくる磁力についての知識 |
| △直列つなぎに関する知識 | |

2 質問紙調査

- ・「自分には、よいところがある」と回答した児童は91.4%、「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはある」と回答をした児童は95.7%であった。一方で、否定的な回答をした児童もいるため、支援が必要。
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童は、75.0%に及ぶが、25.0%の児童が相談できないでいることが課題。
- ・「国語の勉強が好き」と回答した児童の割合は51.8%、「算数の勉強が好き」は61.1%、「英語の勉強が好き」は59.5%、「理科の勉強が好き」が79.5%となった。教科によってバラつきが見られ、引き続きすべての教科で授業改善が求められる。
- ・「自分で学び方を考え、工夫することができている」と回答した児童は82.7%であった。「できていない」という児童に対しての手立てが必要。
- ・授業でのICT機器の使用頻度が「ほぼ毎日」と回答した児童が36.2%、「週3回以上」が32.8%となっており、使用頻度は年々上昇している。

□改善の取組

- ・「話し合い活動の充実」、「基礎・基本の定着、わかる授業」等、課題に対する取組を「学習部会」「研究推進委員会」「学年会」で検討し、全職員で共有する。
- ・「思考力・判断力・表現力」を伸ばし児童自身が自ら考えて学べるよう、引き続き協同的探究学習を取り入れた授業改善を行う。
- ・児童の生活満足度を高めるため、これまで以上に学校・家庭・地域が連携して児童を見守る。
- ・自己肯定感が低い児童については、担任・児童支援担当・養護教諭等を中心に個別の相談体制を整える。